

子育て環境に対する意識に関するアンケート調査結果

子育て支援課

1 調査目的

県では、少子化対策は社会全体で取り組むべき課題であるとの認識に立ち、「安心して子どもを産み育てることができる岐阜県」を目指して各種施策を推進しています。

今回、子育て環境に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の少子化対策に関する取組みの基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象など

調査対象：県政モニター485人（うちインターネットモニター278人）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：令和元年6月3日～6月17日

回収結果：426人（回収率 87.8%）

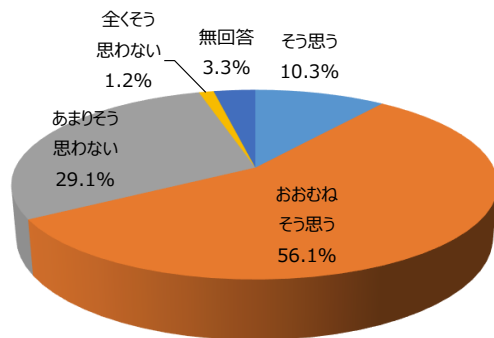
その他：構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

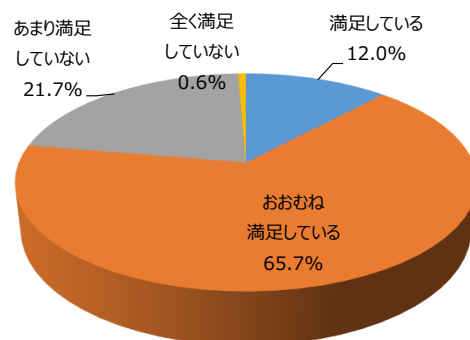
3 結果概要

○岐阜県の子育て環境について

・岐阜県は子育てにやさしい社会であるか



・岐阜県で子育てをしていること、または子育てをしたことについて満足しているか



○子育てに関する心配事について

子育てをする上で心配に思うことは、「子育て・教育にお金がかかること」が87.3%と最も高く、次いで「子どもの預け先・相談先が十分でないこと」が39.4%となっている。

○仕事と子育ての両立について

男女ともに働きながら安心して子育てできる社会の実現のために何が必要かについて、「多様な働き方ができること」が30.2%と最も高く、次いで「子ども(小学生を含む)の預かり先やサービス内容が充実すること」が16.4%となっている。

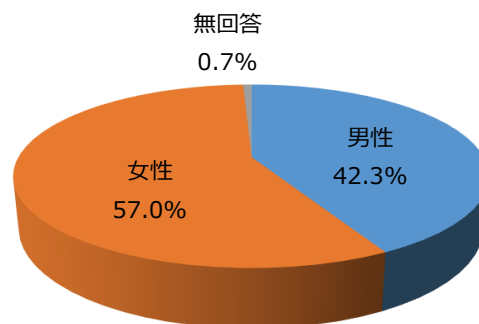
○男性の育児休業取得率について

男性の育児休業取得率を引き上げるためにはどのようにしたらよいかについて、「法令による育児休業取得の義務付け」が60.2%と最も高くなっている。

4 回答者属性

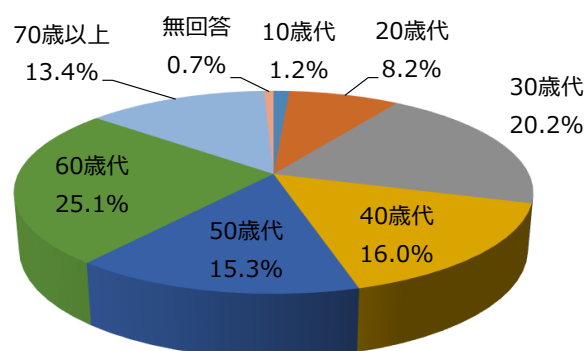
(1) 性別

	人数	構成比
男性	180	42.3%
女性	243	57.0%
無回答	3	0.7%
合計	426	100.0%



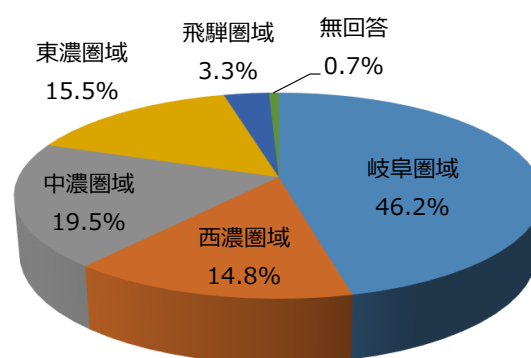
(2) 年代別

	人数	構成比
10歳代	5	1.2%
20歳代	35	8.2%
30歳代	86	20.2%
40歳代	68	16.0%
50歳代	65	15.3%
60歳代	107	25.1%
70歳以上	57	13.4%
無回答	3	0.7%
合計	426	100.0%



(3) 居住圏域別

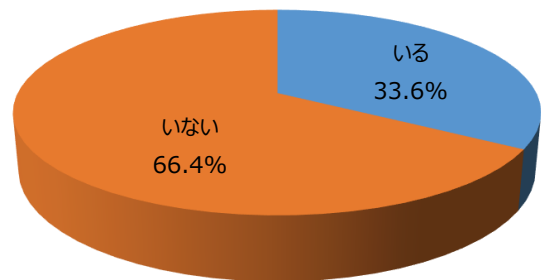
	人数	構成比
岐阜圏域	197	46.2%
西濃圏域	63	14.8%
中濃圏域	83	19.5%
東濃圏域	66	15.5%
飛騨圏域	14	3.3%
無回答	3	0.7%
合計	426	100.0%



5 調査結果

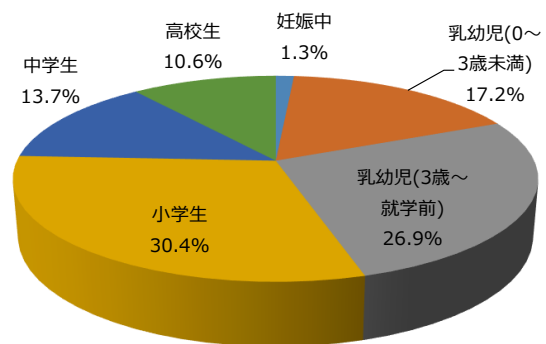
問1 あなたにお子さんはいらっしゃいますか。(18歳以下/妊娠中を含む)

	人数	構成比
いる	143	33.6%
いない	283	66.4%
合計	426	100.0%



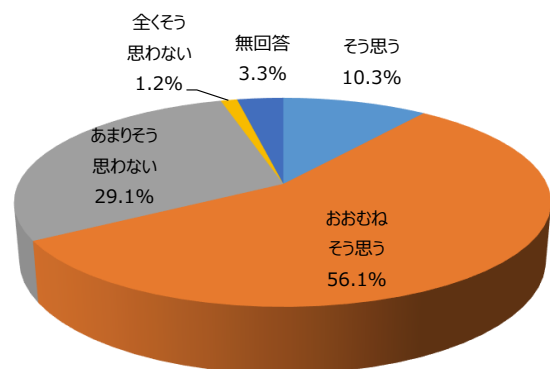
お子さんはどの年代ですか。(お子さんがいる方/複数回答)

	人数	構成比
妊娠中	3	1.3%
乳幼児(0~3歳未満)	39	17.2%
乳幼児(3歳~就学前)	61	26.9%
小学生	69	30.4%
中学生	31	13.7%
高校生	24	10.6%
合計	227	100.0%



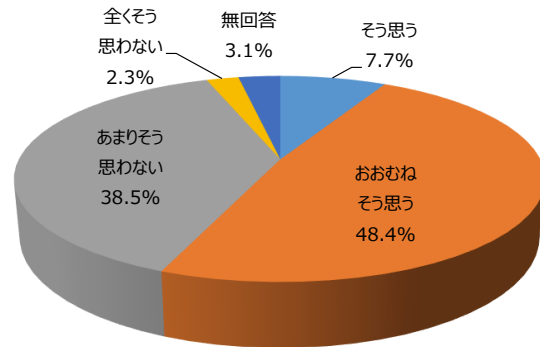
問2 あなたは、岐阜県は「子育てにやさしい社会」であると思いますか。

	人数	構成比
そう思う	44	10.3%
おおむねそう思う	239	56.1%
あまりそう思わない	124	29.1%
全くそう思わない	5	1.2%
無回答	14	3.3%
合計	426	100.0%



問3 あなたは、岐阜県が、結婚・出産・子育てについて、夢や希望を持ったり、楽しい・頑張ろうと前向きに考えることができる社会だと思いますか。

	人数	構成比
そう思う	33	7.7%
おおむねそう思う	206	48.4%
あまりそう思わない	164	38.5%
全くそう思わない	10	2.3%
無回答	13	3.1%
合計	426	100.0%



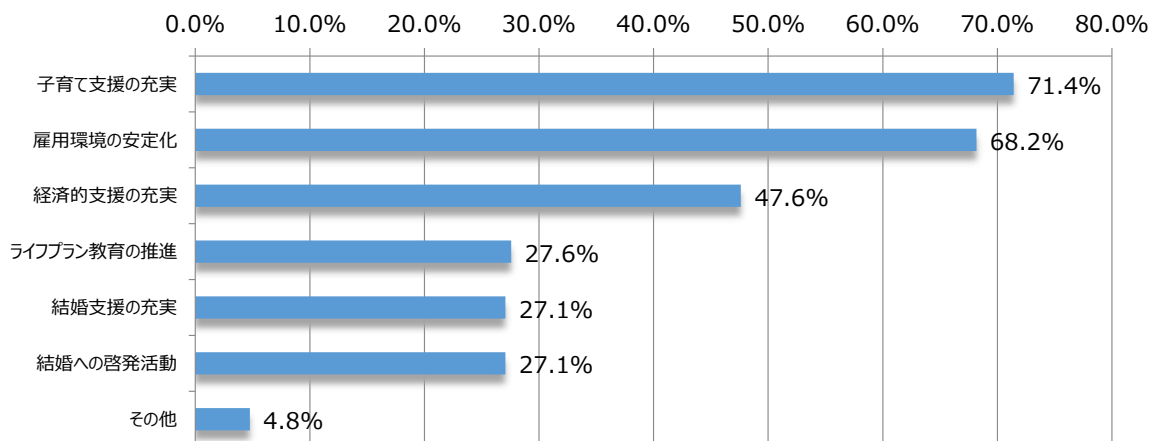
問4 あなたは、これから結婚・出産・子育てを迎える若い世代が、結婚し家庭をもつことに夢や希望を持てる社会にするために何が必要だと思いますか。

(3つまで回答/回答者数399人)

	人数	構成比
子育て支援の充実	285	71.4%
雇用環境の安定化 (若者の就労支援)	272	68.2%
経済的支援の充実 (結婚祝金の給付、住宅取得に対する助成など)	190	47.6%
ライフプラン教育の推進 (若者が自らの人生設計を考える機会の提供)	110	27.6%
婚活支援の充実 (男女の出会いの場の提供)	108	27.1%
若者が結婚を肯定的に据えることができるような啓発活動の推進	108	27.1%
その他	19	4.8%
合計	1092	

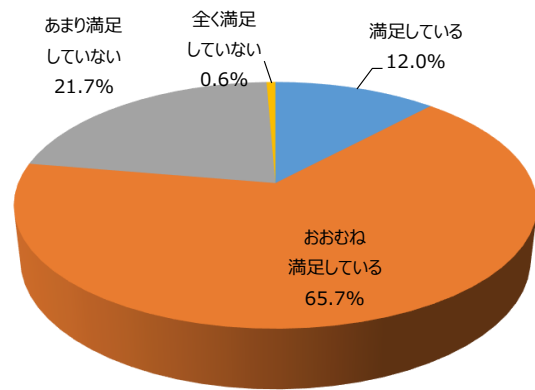
その他意見

- ・本当に学びたい学生に対しての金銭的援助の拡充
- ・共働きしなくても良い所得 など



問5 あなたは、岐阜県で子どもを育てていること、または、育てていたことに満足していますか。
 (現在子育て中の方及び子育て経験者の方/回答者数309人)

	人数	構成比
満足している	37	12.0%
おおむね満足している	203	65.7%
あまり満足していない	67	21.7%
全く満足していない	2	0.6%
合計	309	100.0%

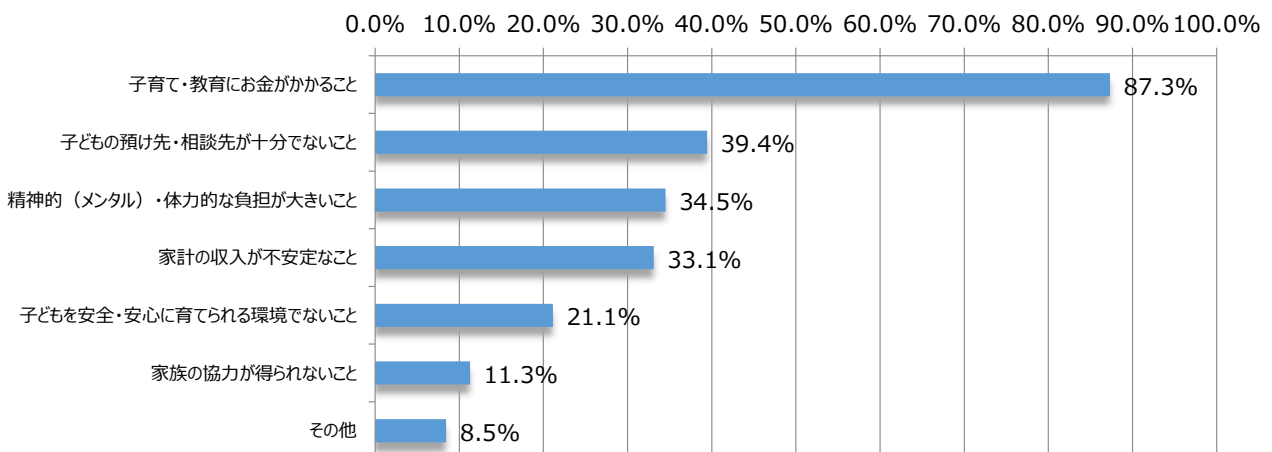


問6 あなたが子育てについて心配なことは何ですか。
 (現在子育て中の方 3つまで回答/回答者数142人)

	人数	構成比
子育て・教育にお金がかかること	124	87.3%
子どもの預け先・相談先が十分でないこと	56	39.4%
精神的(メンタル)・体力的な負担が大きいこと	49	34.5%
家計の収入が不安定なこと	47	33.1%
子どもを安全・安心に育てられる環境でないこと	30	21.1%
家族の協力が得られないこと	16	11.3%
その他	12	8.5%
合計	334	

その他意見

- ・安心して自転車で移動できる歩道。
- ・もっと教育(習い事等)に力を入れたいが、都会に比べ選択肢が少なく、子供の興味に対応しきれない。 など



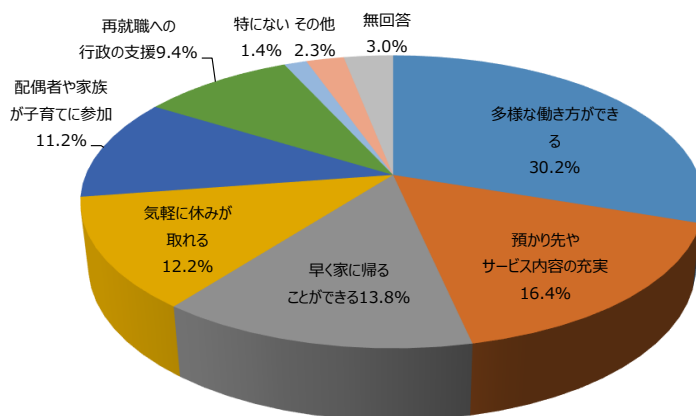
問7 あなたは、男女がともに働きながら安心して子育てができる社会の実現のために何が必要だと思いますか。（最も必要だと思うものを1つ）

	人数	構成比
多様な働き方ができること（短時間勤務や在宅勤務など）	129	30.2%
子ども（小学生を含む）の預かり先やサービス内容が充実すること	70	16.4%
早く家に帰ることができること（時間外労働を減らすこと）	59	13.8%
出産・子育てなどで気軽に休みが取れること	52	12.2%
配偶者や家族が子育てに参加すること	48	11.2%
出産・子育てで退職しても再び働くことができるような行政の支援があること	40	9.4%
特にない（わからない）	6	1.4%
その他	10	2.3%
無回答	13	3.0%
合計	427	100.0%

※複数回答者あり

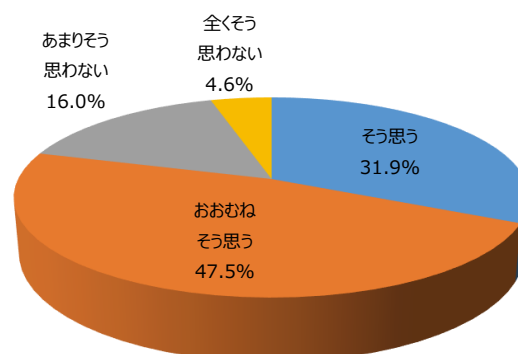
その他意見

- ・全てにおいて最低限度の生活ができるしくみ。
- ・母親が家にいても（専業主婦でも）金銭的不安がないといい。 など



問8 あなたの職場（事業主）は、従業員の子育てや家事などに対して、理解があると思いますか。（現在、職業に就いている方／回答者数263人）

	人数	構成比
そう思う	84	31.9%
おおむねそう思う	125	47.5%
あまりそう思わない	42	16.0%
全くそう思わない	12	4.6%
合計	263	100.0%

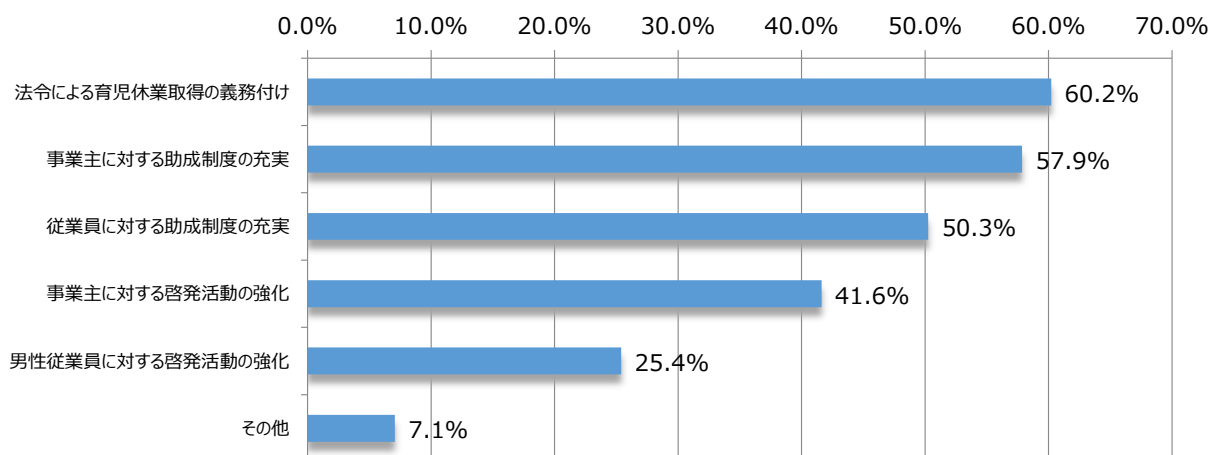


問9 岐阜県内の企業における平成30年度の育児休業取得率は、女性は93.5%に対して、男性は6.2%ですが、男性の育児休業取得率を引き上げるためには、何が必要だと思いますか。
(3つまで回答/回答者数382人)

	人数	構成比
法令による育児休業取得の義務付け（男性従業員は最低2週間は育児休業を取得するなど）	230	60.2%
事業主に対する助成制度の充実（従業員の育児休業取得に応じた事業主への奨励金支給など）	221	57.9%
従業員に対する助成制度の充実（育児休業給付金の支給額の引き上げなど）	192	50.3%
事業主に対する啓発活動の強化（育児休業取得率が高い事業主の表彰・公表など）	159	41.6%
男性従業員に対する啓発活動の強化	97	25.4%
その他	27	7.1%
合 計	926	

その他意見

- ・ 育児休業を取得した時に、自分の仕事を安心して引き継げる環境であること。
また、そうである企業づくり。
- ・ 性別に関係なく育児に関わることが大切だという意識改革や教育。 など



問10 その他、子育て環境に関する県の施策に対して、ご意見などがございましたらお聞かせください。

- ・ P T Aや自治会の在り方を再考する必要があると思う。
- ・ 小さなお子さんの居る家庭への支援をしっかりと手厚く実施して欲しい。
また、その子ども達が学校に入るまでのサポートが金銭面を含めて実施されることを望む。
- ・ 子供を育てるにはお金以外にも時間的な負担が大きいと思う。
行政は積極的に支援をしてあげて欲しい。
- ・ 男性側がもっと子育ても、家事もやらないと、いつまでも女性が疲れてしまい、結婚も出産も増えない。

など